



まなびや

東市ケ尾



表情豊かに躍動する子どもたち

校長 霜田 恵子

先日の学習参観・懇談会にお越しくださり、ありがとうございました。夏を思わせる暑い金曜日、急に気温が下がり季節が逆戻りしたかのような肌寒い月曜日でしたが、子どもたちは、一生懸命に学習に取り組みました。

4月25日には「1年生を迎える会」がテレビ放送で行われ、学年ごとに1年生を歓迎する気持ちを表しました。豊かな表情とはっきりした発音で「世界に一つだけの花」の歌のプレゼントをしてくれた2年生。「ヒガ池」のことなど、学校の秘密を三択クイズにして教えてくれた3年生。掃除の仕方をユーモアも交えて動画で教えてくれた4年生は、雑巾の絞り方も丁寧に見せてくれました。休み時間の決まりを教えてくれた5年生が作成したのは、演技派(?)が登場する動画でした。給食のことを調理員さんのインタビューも交えて教えてくれた6年生。1年生に伝わるようにわかりやすく語りかけていました。かわいい1年生からは、元気いっぱいの「さんぼ」の歌のお返しがあり、微笑えましかったです。計画委員の児童は、生放送の司会等も務め、中継を交えた本格的な動画も披露しました。最高学年6年生の立派な姿を改めて実感するとともに、小学校6年間で段階を踏んで成長する姿がよくわかる会でした。そして、全校みんなで力を合わせて「素敵なヒガイチ」にしていこう!!と前向きな気持ちになれる会に心が温まりました。

新学期がスタートしてひと月。マスクも徐々にとれ、表情豊かな躍動的な新学期がスタートしました。強い風や黄砂に負けない子どもたちに、元気をたっぷりもらいました。

でも、そろそろ、疲れが見え始めるころではないでしょうか。そんなときを迎え、2冊の本を紹介したいと思います。1冊は「きみのことが だいすき」(いぬい さえこ さく パイ インターナショナル)です。「じょうずに できたときも じょうずに できなかったときも あなたが とってもがんばっていたことは なにも かわらないよ。…」「たくさん まちがえる、きみは すてき。たくさん しっばいする、きみは すてき。…」など、環境の変化で不慣れな毎日を頑張っている心にしみてくる言葉が書かれています。子どもたちは、頑張っています。ご家庭が子どもたちの「ホーム(心の拠りどころ)」になってくださるので、子どもたちは新たな挑戦ができると思います。そして、いずれは教室が子どもたちの「ホーム」になれるように職員一同努めます。

もう1冊は、「ともだち」(谷川俊太郎・文 玉川大学出版部)です。「ひとりでは できないことも ともだちと ちからを あわせれば できる。」「だれだって ひとりぼっちでは いきてゆけない。」など、少ない文字の中に、深い意味が込められている、どの学年が読んでも考えさせられる本です。

4月23日は、「横浜子ども読書の日」でした。ゴールデンウィークに、子どもも大人もリフレッシュできることを願います。そして、親子で読書をしたり、語り合ったりする時間がもてますように…と願っています。